

大学コンソーシアム岡山 第28回運営委員会 議事要旨

1. 日 時：平成25年2月22日（金）15時00分～17時00分
2. 場 所：岡山理科大学 50周年記念館 3階 会議室
3. 出席者：25人／37人、その他、代理、随員及び陪席者数 3人）末頁の通り

（議 事）

会議に先だち、木村運営委員長（岡山理科大学）より、第27回運営委員会議事要旨の確認を行い、内容について意見等があれば後日連絡をいただくことで了承された。

（審議事項）

1. 平成24年度収支決算中間報告について

木村運営委員長から資料1に基づき、会費及び事業費の平成24年度事業会計収支計算書について各科目の説明があった。会費は、印刷製本費やホームページ管理費等が節約できた。当初、会費から事業費に運転資金として100万円貸していたが、年度内に会費に返却する。就職援委員会の80万円については、今後の事業継承において人件費等の積立てとして貯金している。

事業費について、100万円運転資金分が収入として計上されている。事業費は、FD・SD 事業や VOD 撮影補助人件費等を節約できたが、当初見通しができていなかった管理費の科目については赤字が多い。次期繰越収支差額が320,553円であるが、次年度の運転資金として利用させていただきたい。最終年度では剰余金は各大学に返却する予定である。

以上、会費と事業費の内容及び繰越金は次年度の運転資金として利用する旨の確認がなされ、了承された。

2. 平成25年度事業計画及び予算計画案について

木村運営委員長から資料2に基づき、各事業部の事業計画及び予算計画案について次の説明があった。平成25年度会費の収支差額について、平成24年度に比べて平成25年度は赤字幅が増えているので、今後とも赤字予算を打開するための検討が必要である。

（1）大学教育事業部の提案

木村運営委員長から資料2-1に基づき、対面・遠隔科目について次の説明があった。対面授業科目は科目数の減少について単位互換教育事業を所管する岡山大学に提案した。平成25年度単位互換科目紹介パンフレットは対面授業科目を全て掲載したが、履修者数等を評価して次回の作成方法等を検討する予定である。

資料2-2-1に基づき「対面・遠隔講義委員会」検討事項について、次の説明があった。VOD型遠隔科目を提供する大学の学生は履修できないため、担当教員へ謝礼金を

支給することについて、謝礼金の受け取りに賛成しない大学もあるので、引き続き支給についての検討を続ける。

資料2-2-3に基づき「単位互換委員会」検討事項について次の説明があった。旧岡山オルガノンとの受講生募集期間の統一について、各大学によって開講日や授業時間が異なるため、募集期間の延長を個別大学に依頼する。

澁谷委員（山陽学園大学）から、VOD科目提供大学の担当教員に報酬を支給することについて大学コンソーシアムで定義していただきたい、との意見があった。

大槻委員（川崎医科大学）から、「謝礼金」という語句について適切な用語に検討いただきたい、との意見があった。

木村運営委員長より、担当教員への謝礼金の支給について執行されるかは未定であるが、検討事項として了承いただきたいとの発言があり、承認された。

岡山大学 本多氏（岡山大学 学生支援センター准教授）から資料2-3に基づき、障がいのある学生の就学支援に関する説明があった。障がい学生支援委員会を平成25年度より大学コンソーシアム岡山の新規委員会として設置し、各大学の関係部署から委員を選出いただきたい旨の確認がなされ、了承された。

大崎委員（岡山商科大学副学長）から資料2-4に基づき、次の説明があった。岡山商科大学では代表的科目をライブ型遠隔科目として提供したが、他大学にとっては評価されていない可能性がある。36,000人の1%に相当する約350名程度は受講生を出す必要がある。例えば分野別科目設定を行って大学間共通のオムニバス科目の新設を、平成25年度に検討し、平成26年度から施行すること等をオルガノン参加大学の義務であるとする。また、各大学で非常勤を担当している先生方の科目のうち数科目、対面授業科目とライブ型遠隔科目で実施することをご検討いただきたい。

文科省から補助金いただいたことに対し、大学コンソーシアム岡山における新しい教育方式となるオムニバス科目の開設を前向きにご検討いただきたい。

木村運営委員長から、各授業時間の開始時刻が違うので他大学の授業を受けることが厳しいので現実的対応策を検討したいとの説明があった。

加藤委員（くらしき作陽大学 学生部長）から次の質問があった。オムニバス科目は、どのように他大学の先生が担当するのか。

木村運営委員長から、15コマを数科目ずつ担当し、相互に配信する旨の回答があった。

堂田副委員長から次の質問があった。科目数はどのくらいか。

大崎委員から次の回答があった。数科目で300名程度の受講生を見込みたい。時間

帯調整がうまくいけば、現在の提供科目に各大学から誘導いただき、20名ずつ受講生を出していただければ、オムニバス科目を検討しなくて済む。

金光委員（川崎医療福祉大学 学長補佐）から次の意見があった。以前、課外授業や週末を利用することを検討したことがあったがどうか。

大崎委員から、週末に講義をしていない大学は受講が難しいので、岡山オルガノンの時に提示した3つの共通の授業時間帯を利用するのも1つの案である、との回答があった。

大槻委員から、オムニバス科目は、他大学学生に対して単位認定するために代表校を設定する必要がある旨の提案があった。

木村運営委員長から具体的に実現を図りたいので、対面・遠隔講義委員会で今後審議いただくよう、新規事業として設定することが了承された。

（2）社会人教育事業部の提案

吉備創生カレッジ講座 VOD 配信について、平成26年度の実現に向けて平成25年度に検討を行う件で、木村運営委員長から資料2-5に基づき、提案説明があった。

澁谷委員長から次の質問があった。著作権についてはどうか。ネット上配信における攻撃についての対応を検討いただきたい。受講料の支払い方法はどうか。

木村運営委員長から、著作権については担当教員に対応いただきたい。受講料は振込みいただく形を想定している。講義自体と講義内容の2面で著作権を検討する必要がある。現在のVOD型遠隔講義と類似した対応になる。

（3）産学官連携事業部の提案

澁谷委員から資料2-6に基づき、平成25年度日ようび子ども大学第1回実行委員会について説明があった。平成25年7月7日はエコナイトの開催があるため、平成25年6月2日に早めた開催を予定している。

資料2-7に基づき、エコナイトの開催について説明があった。

木村運営委員長から資料2-8に基づき、平成25年度東日本大震災復興援ボランティアの派遣について説明があった。平成25年度東日本大震災復興支援ボランティア報告会については、来年度開催したい。

澁谷委員から、学内行事等で事前研修会に参加できない学生には、テレビ会議システムを利用する等した説明会を別途開催することの提案があった。

大崎委員から、各大学で震災ボランティアに関する案があれば、岡山経済同友会へ提

案・意見等を伺うことについて原副委員長（岡山経済同友会教育問題委員長）に提案した。

木村運営委員長から平成27年度以降のインターンシップ実施体制の検討について、説明があった。

3. 事務局からの提案について

木村運営委員長から資料3-1に基づき、平成25年度大学コンソーシアム岡山役員の交代について説明があった。平成25年4月から運営委員長を堂田副委員長に就任いただくことについて確認がなされ了承された。

堂田副委員長から資料3-2に基づき、平成25年度事務局組織変更について説明があった。平成25年4月より大学コンソーシアム岡山事務局に非常勤顧問として木村運営委員長を雇用することについて了承された。

木村運営委員長からFD講演会について、岡山理科大学から今年度大学コンソーシアム岡山と共同で開催する打診があったが、予算計上していなかったため、平成25年度に開催する旨の確認がなされ了承された。

次に、賛助会員の募集について次の説明があった。インターンシップをベースに働きかけを行う等の提案があればご教示いただきたい。具体的な賛助会員の制度については、今後検討していくことで了承された。

木村運営委員長から、資料3-3に基づき運営委員メールングリストの作成及び設置について説明と確認があり了承された。

（報告事項）

1. 各事業部活動報告について

（1）大学教育事業部（単位互換委員会、対面・遠隔講義委員会）

木村運営委員長から資料5-1に基づき、平成24年度後期単位互換履修状況について報告があった。

（2）社会人教育事業部（社会人教育委員会）

木村運営委員長から資料5-2に基づき平成24年度前期・後期の吉備創生カレッジ受講状況について報告があった。

（3）産学官連携事業部（地域貢献委員会、就職支援委員会）

木村運営委員長から資料5-3に基づき平成24年度日ようび子ども大学について報告があった。

資料5-4に基づき平成24年度エコナイトについて報告があった。

資料5-5に基づき、学生ボランティア活動について報告があった。

資料5-6に基づき(財)マルセンスポーツ・文化振興財団の助成事業に応募したことについて報告があった。

2. 出張報告について

木村運営委員長から資料6に基づき、各出張報告があった。NPO 法人 CCC-TIES シンポジウム参加について事情説明が行われ、今後大学コンソーシアム岡山における VOD 型遠隔講義配信システムの検討の際に参考としたいとのことであった。

3. その他

木村運営委員長から資料6に基づき、過去の書類の処理について説明があった。過去5年以前は書類を破棄し、必要なものは電子ファイル化する原案が了承された。

資料7-2に基づき、岡山オルガノンの構築「通信インフラの更新」について説明があった。1, 260円の差額について検討案1について提案がなされた。後日各大学で検討いただき、ご意見等あればご連絡いただきたい。

資料7-3に基づき「ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会設立」について説明があった。

別添に基づきアメリカ総領事館「アメリカ留学プログラム」について説明があった。

別添に基づき岡山県警察「犯罪被害者等支援」について説明があった。犯罪被害者に対する支援体制の紹介があった。

その他、「統一教会の『留学生日本語弁論大会』にご注意を」について説明があった。

大崎委員から、文科省補助金のことを踏まえて各大学で設置の機器をできる限り活用していただくことを認識いただきたいとの追加発言があった。

次回開催日については、追って通知する。